

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分  
 【発行日】平成23年6月16日 (2011.6.16)

【公開番号】特開2010-137087(P2010-137087A)  
 【公開日】平成22年6月24日 (2010.6.24)  
 【年通号数】公開・登録公報2010-025  
 【出願番号】特願2010-62720(P2010-62720)  
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 3 4  
 A 6 3 F 7/02 3 0 4 Z  
 A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】  
 【提出日】平成23年4月21日 (2011.4.21)  
 【手続補正 1】  
 【補正対象書類名】特許請求の範囲  
 【補正対象項目名】全文  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【特許請求の範囲】  
 【請求項 1】

遊技者が所定の遊技を行うことが可能な遊技機であって、  
 遊技機に設けられた電気部品の制御を行うための電気部品制御手段と、  
 遊技媒体を検出するための遊技媒体検出手段と、  
 遊技機への電力供給が停止していても記憶内容を所定期間保持可能な記憶手段と、  
 操作に応じて操作信号を出力する初期化操作手段とを備え、  
 前記電気部品制御手段は、  
電力供給が開始されたときに、前記記憶手段に保持されている記憶内容にもとづいて遊  
技機への電力供給が停止される前の制御状態に復帰させる復帰制御を実行し、  
電力供給が開始されたときに、前記初期化操作手段からの前記操作信号が入力されてい  
れば前記記憶手段の記憶内容を初期化し、  
 所定期間毎に発生する割込信号の発生毎に実行する割込処理と、繰り返し連続して実行  
 するメイン処理とを行い、  
 前記割込処理では、数値データの更新を行う数値データ更新処理を実行し、  
 前記メイン処理では、前記数値データ更新処理によって記憶された値にもとづき前記電  
気部品の制御を行う制御処理を実行し、  
前記初期化操作手段からの前記操作信号が入力されているか否かを、前記遊技媒体検出  
手段から出力される信号が有効と判定される判定期間よりも短い判定期間で判定する  
 ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】  
 【補正対象書類名】明細書  
 【補正対象項目名】0 0 1 2  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【0 0 1 2】

本発明による遊技機は、遊技者が所定の遊技を行うことが可能な遊技機であって、遊技  
 機に設けられた電気部品の制御を行うための電気部品制御手段（例えば、C P U 5 6、払

出制御用CPU371、表示制御用CPU101、ランプ制御用CPU351、音制御用CPU701)と、遊技媒体を検出するための遊技媒体検出手段と、遊技機への電力供給が停止していても記憶内容を所定期間保持可能な記憶手段と、操作に応じて操作信号を出力する初期化操作手段とを備え、電気部品制御手段が、電力供給が開始されたときに、記憶手段に保持されている記憶内容にもとづいて遊技機への電力供給が停止される前の制御状態に復帰させる復帰制御を実行し、電力供給が開始されたときに、初期化操作手段からの操作信号が入力されていれば記憶手段の記憶内容を初期化し、所定期間毎に発生する割込信号の発生毎に実行する割込処理(例えば、タイマ割込処理)と、繰り返し連続して実行するメイン処理とを行い、割込処理では、数値データの更新を行う数値データ更新処理(例えば、ステップS22～ステップS25)を実行し、メイン処理では、数値データ更新処理によって記憶された値にもとづき電気部品の制御(例えば、図35に示すタイムアウトチェック処理にて、タイマ状態保存領域に保存されている汎用タイマの値と事前に算出されている変動終了時間値とが一致している場合に、変動時間タイマがタイムアウトしたものであるとして実行される制御(具体的には、例えば、確定コマンドを送出し、可変表示装置での特別図柄の可変表示を停止させる制御。))を行う制御処理(例えば、遊技制御処理、払出制御処理、表示制御処理、ランプ制御処理、音制御処理)を実行し、初期化操作手段からの操作信号が入力されているか否かを、遊技媒体検出手段から出力される信号が有効と判定される判定期間よりも短い判定期間で判定することを特徴とする。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

本発明によれば、遊技機を、電気部品制御手段が、所定期間毎に発生する割込信号の発生毎に実行する割込処理と、繰り返し連続して実行するメイン処理とを行い、割込処理では、数値データの更新を行う数値データ更新処理を実行し、メイン処理では、数値データ更新処理によって記憶された値にもとづき電気部品の制御を行う制御処理を実行することを特徴とする構成としたので、一連の制御処理が終了しないうちに割込処理が開始されて数値データが更新されたとしても、制御処理に未処理となる部分が残ることを防止することができ、一連の制御処理が完了しないことによってもたらされる不都合が解消される。